

相模川・川づくりのための土砂環境整備検討会－設立趣意

1. 趣意

相模川では、近年、ダム貯水池内の土砂堆砂の進行に伴う貯水能力の減少、河道形状の変化、河口や沿岸の海岸侵食など土砂移動に係わる様々な問題が顕在化しつつあります。

これまで、このような問題への対応は、土砂移動現象が広域的・長期的で、その影響が捉えにくいことから、各領域の関係組織間の情報交換が必ずしも十分図られず、個別に対応してきました。

そこで、時間的・空間的な広がりをもった土砂移動の場（流砂系）の土砂動態の実態把握を行うとともに、土砂の量と質のバランスのとれた安全で自然豊かな親しめる河川・海岸をめざすべく、地域住民、学識経験者、関係機関及び砂防、ダム、河川及び海岸等の関係行政機関の方々が一堂に会して、議論を深めるために「相模川水系土砂管理懇談会」が平成13年2月に設置され、平成15年3月までに懇談会6回と現地見学会を開催し、実態に関する認識を深め、その結論として「相模川の健全な土砂環境をめざして」の提言をとりまとめました。

そこで、前記の懇談会で提言を踏まえて、相模川の健全な土砂環境を目指した取り組みの実施方針の提案及びその対策効果の検証を行うとともに今後の土砂環境改善に向けた具体的な方策について、市民、学識経験者、関係機関、行政の方々が一堂に会して議論を深めるために検討会を設置するものです。

2. 委員メンバー

各回資料を参照

3. 検討期間

平成 15 年 12 月から 2～3 年程度を予定

4. 検討会開催回数

平成 15 年度は 2 回程度を予定